


養生所/(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備公開に際し陳情書Ⅳ

審査当日配布資料 1

2017年(平成29年)12月8日金曜日

養生所評議会代表 池田和恭 

九州考古学会

# 「分析研究所」保存を

## 知事や長崎市長に要望

九州考古学会(小池史哲会長、福岡市)は4日までに、長崎市立仁田佐古小の新校舎建設予定地で見つかった長崎大薬学部起源の

一つとされる「分析研究所」の遺構を保存するよう、中村法道知事や田上富久長崎市長らに要望した。

市は分析研究所について、精密な記録を取った上で遺構を取り除き、予定通り校舎建設を進める方針。これに対し、歴史的価値を保つために現状のまま遺構全体を保存することを求めた。

知事と市長のほか、県教育長、長崎市議会議長、同市教育長に要望書を1日、郵送した。15日までに回答するよう求めている。

(宮本祥太)

埋文委 第3号  
2017年12月1日

長崎県知事 中村法道 殿  
長崎県教育長 池松誠二 殿  
長崎市長 田上富久 殿  
長崎市議会議員 野口達也 殿  
長崎市教育長 馬場豊子 殿

九州考古学会会長 小池史哲

### 長崎市分析研究所の保存に関する要望について

標記の件について、別添書類の如く、当該遺跡は学術上きわめて重要な内容をもつものでありますので、貴殿において、適切な保存の対策が速やかに講じられることを要望いたします。

なお、当件の具体的な措置、対策については、2017年12月15日（金）までに、ご回答をくださるようお願いいたします。

#### 記

一、別添書類

一通

以上

連絡先

〒819-0395 福岡市西区元岡 744  
九州大学 大学院比較社会文化研究院  
基層構造講座内 九州考古学会事務局

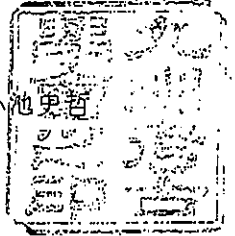


2017年12月1日

長崎県知事	中村法道	殿
長崎県教育長	池松誠二	殿
長崎市長	田上富久	殿
長崎市議会議員	野口達也	殿
長崎市教育長	馬場豊子	殿



九州考古学会会長 小池史哲



## 長崎市分析究理所の保存に関する要望書

九州考古学会は、長崎市立仁田佐古小学校建て替え用地に所在する分析究理所跡の遺構の適切な保存を、改めて強く要望します。

本会はすでに表記に小島養生所等を加えた同様の主旨の要望書を本年2月3日に長崎県知事・同県教育長・長崎市長・同市教育長に提出しています。これに対して、3月8日に長崎市長から遺跡保存への理解と、未調査部分についての予知的判断（「遺構は残存していない可能性が高い」）を示す回答をいただきました。その後長崎市が長崎（小島）養生所を文化財に指定され、保存計画を示されたことに敬意を表すものです。その後未調査部分（養生所に隣接する医学所・分析究理所）の調査が進展し、3月8日の回答で示された予知的判断と異なる新たな結果（分析究理所の遺構が予想をこえてよく残存する）が明らかになりました。この結果をうけて審議された長崎市文化財審議会の結論は、「遺構が残る範囲を史跡に加え指定範囲を拡大する」というものでした。しかし現在、このことに対する長崎市の行政的対応がなされないまま、学校建設にかかわる最終判断が下される状況に及んでいます。本会はこのことに危機感を覚え、九州考古学会（2017年11月26日）での合意をふまえて再度要望書を提出するものです。

保存を要望する遺構は、分析究理所の以下の部分です。

- ① 西側石垣
- ② 建物礎石等
- ③ 石段および敷地の石垣（北側、南側、石段に連結する部分）

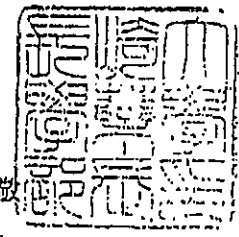
すでに史跡となった養生所に留まらず、一連の遺構が相互に関連してこれだけ残存している遺跡が高い学術価値をもつことは言を俟ちません。ことに③の石段とこれに続く石垣は、当時の医学生たちの生活の息吹をつたえる貴重な資料といえます。遺構は全体が現物で保存されてこそ歴史的意味があり、たとえ3次元計測などの精密計測データを残し、遺構を移築再建したとしても、一度解体された遺構は実物に代わるものではなく、遺跡の本質的価値は著しく損なわれます。長崎市におかれましては長崎市文化財審議会の判断を真摯に受け止め、遺構残存地区を追加指定して、遺跡全体の恒久的な保存を実現されますよう、本会は強く希望するものです。

九州考古学会は、分析究理所の遺構全体を医学・化学史ならびに教育史上の重要史跡と認識し、遺構の本質的価値を損ねることなく小島養生所と一体的に現地保存することを重ねて要望いたします。本遺跡群の保全が9月にオランダ・ライデン市との姉妹都市締結を果たされたばかりの長崎市の国際的な信用にも関わることを含め、一層慎重にご判断されますことを希望いたします。

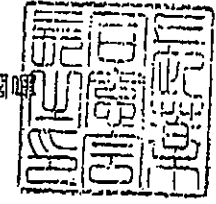
平成 29 年 10 月 25 日

長崎市長  
田上 富久殿

長崎大学  
薬学部長 黒田直敬



長崎大学  
薬学部同窓会長 山中國暉



分析窮理所遺構の調査、保存、活用についての要望書

このたび小島養生所跡地の発掘調査において「分析窮理所」が発見されたことを受け、分析窮理所遺構保存に関する要望書を提出させていただきたく存じます。

長崎は古くから海外に開かれた地であり、日本の近代薬学の歴史も長崎出島を通じたオランダとの交流から始まりました。長崎大学薬学部の前身は、1890年(明治23年)に創立された第五高等中学校医学部薬学科であり、その長い歴史の中において、これまで2008年(平成20年)にノーベル化学賞を受賞されました下村 脩博士を筆頭に多くの優秀な人材を輩出してきました。一方で、1865年(慶応元年)に設置され日本の自然科学・薬学の源流であり、理化学の教育や実験を行っていた分析窮理所が長崎大学薬学部の起源の1つであるという意見もあります。分析窮理所の調査が進み、我が国の自然科学・薬学の原点が長崎大学薬学部であることが証明されれば、長崎大学薬学部の歴史的な評価が高まります。またそのことは、長崎市内や全国から自然科学・薬学を志す優秀な学生が長崎大学薬学部に集まることに繋がり、地域医療貢献や科学技術による地域産業活性化を通じて、長崎市の発展にも貢献していくことも期待されます。また、長崎大学薬学部の教職員や学部学生・大学院生ならびに開学以来8,000名を数える長薬同窓生の励みにもなると考えられます。そうした際に、分析窮理所遺構の現地における見える形での保存、全面的な調査が必要不可欠です。

分析窮理所で教師を務めたハラタマ、ゲールツは、我が国の近代科学・薬学の発展において極めて重要な役割を果たしました。まず、オランダ陸軍軍医であったボードウィンのもと1865年(慶応元年)養生所は精得館と改称し、10月に物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所が設置されました。1866年(慶応2年)5月、オランダ人ハラタマが来日し、分析窮理所の教師として、化学・物理学・薬物学・鉱物学・植物学などの自然科学を講義し、また、実験を中心にした理化学を教授しました。この後、ハラタマは、18

69年(明治2年)5月に開校した大坂舎密局に招聘されました。大坂舎密局は第三高等学校となり、後の京都大学の源流となりました。ハラタマは日本近代化学の父とも称されています。1869年(明治2年)に薬学、理化学、植物学を専門とするオランダ人ゲールツが日本政府の招聘で来日し、分析窮理所で物理、化学、幾何学を教授しました。ゲールツは、1873年(明治6年)に長崎税関の委嘱により輸入キニーネの分析を行い、その鑑定報告に添えて粗悪な輸入薬品の取締りと薬品試験所の必要性を建議しました。長崎医学校で校長を務めたことのある長與専齋衛生局長はこの進言をとりあげ、薬品検査機関として司薬場が設置されました。1875年(明治8年)、長與専齋は、日本薬局方の必要性から、京都司薬場監督のゲールツに日本薬局方草案作成の内命を与え、局方制定のための準備を進め、草案をまとめていきました。1883年(明治16年)8月30日、薬局方の成立をみることなくこの草案作成中にゲールツは急性の病により横浜の地で40年の生涯を閉じました。日本薬局方草案作成事業は、長崎司薬場にも務めたことのあるオランダ人エイクマンが引き継ぎ、1886年(明治19年)6月25日、日本薬局方の初版が交付されました。これは、近代的な体裁を持つ局方としては東洋で初めて、世界では21番目にあたる国定局方でした。また、ゲールツは1877年(明治10年)から1879年(明治12年)にかけて日本全土でコレラが大流行した際、長與衛生局長を助け防疫対策を実行し、伝染病予防規則の制定を促すなど今日の衛生行政の基礎を確立しました。国立医薬品食品衛生研究所は、東京司薬場を源流とした日本国内で最も古い国立試験研究機関であり、所内にはゲールツの薬事行政、保健衛生の発展に対する功績をたたえ、顕彰碑が建てられています。このように、日本の近代教育、司薬場の建議と設置、日本薬局方の制定、衛生行政の確立には、分析窮理所やそこで教鞭をとったオランダ人教師が大きな役割を果たしました。以上の理由において、我が国の近代の自然科学・薬学発展における分析窮理所の文化財としての価値は計り知れないものがあります。したがって、分析窮理所遺構の現地における見える形での保存・全面的な調査を強く要望致します。

長崎市は、江戸・明治時代を通じて、我が国における近代の自然科学・薬学の発展に重要な役割を果たした歴史的な価値を有している都市ですが、原爆投下による被害の影響もあるためか、残念ながら遺構と言えるものが少ないのが現状です。このような文化的価値が高い分析窮理所を保存し、医学所を含む小島養生所遺構と併せて、分析窮理所に関わったハラタマ、ゲールツ、医学所を含む小島養生所に関わったボンベ、ボードウィン、松本良順、長與専齋など日蘭の功績者に関する当時の写真や遺構の資料を展示する資料館を現地に建設するなど活用し、長崎が近代の自然科学・薬学や医学の発展に果たした役割やそれに対するオランダの貢献と感謝の意を国内外に発信して欲しいと願っています。それにより、オランダとの交流の絆や長崎市民の誇りが増えることに繋がるものと思います。とりわけ、長崎の将来を担う子供たちへの地元への愛着、自然科学・薬学や医学に対する想いに与える影響は大きいものと思われ、長崎から第2、第3の下村博士を誕生させる契機になって欲しいと願っております。以上、分析窮理所遺構の活用を強く要望致します。

平成29年1月11日

長崎市長  
田上 富久 様

公明党 長崎県本部

代表 麻生



## 「養生所遺構」の調査、保存、活用に関する要望

2015年10月、長崎市佐古小学校の建て替えに伴う長崎市文化財課の発掘調査によって、敷地内に小島養生所の痕跡を示す物品が発見されました。また、その後の調査でも養生所北棟の一部が発見され、さらに佐古小学校の敷地周囲を巡らす石垣には、養生所開設当時に積まれた石垣が部分的に残っていることが明らかになりました。

わが党においても、この事実をいち早く注目し、党内においてその価値を共有するとともに、これまで長崎市ならびに長崎大学とも連携し、昨年の市議会11月定例会においては、山本信幸議員が質問を行うなど、保存に向けた取り組みを行っているところです。

とくに、昨年12月16日、長崎大学・下川功医学部長から、公明党長崎県本部顧問 秋野公造参議院議員を介し、文化庁へ要望を行ったところ、同庁の中岡次長より「国の登録文化財として、一部露出展示などを行うことは有意義だ」との見解も示されました。

つきましては、これらの経緯を踏まえ、長崎市佐古小学校敷地内の養生所遺構の保存について、下記の通り、具体的な要望をいたします。



### 要望事項

- (1) 既に発掘調査がほぼ終了した養生所跡地については、適切な保存方策を講じるとともに、世界的歴史遺産として一部露出展示を行い、将来にわたって活用すること
- (2) 調査が未だ不十分と考えられる医学所および分析病理所等跡地については、追加調査を行い、石垣の価値を十分に検討するとともに、新たな遺構が発見されればあわせて適切な改善保存方策を講じること
- (3) 重要な歴史遺産としての公的な認知を得るため、国の文化財登録もしくは市の史跡指定など、将来の遺構保存・活用に向け最適切な手続きを行うこと
- (4) 今後の「養生所遺構」の保存、活用方策の検討を、長崎市と長崎大学協働事業として実施すること

以上



『長崎市歴史文化基本構想』(平成27年3月)「本編」よりオランダ関連の単語と文脈を原則として全て抜き出しました。

目次

特性I テーマI-2 長崎の伝統芸能・行事・生活文化  
 特性G テーマ G-2 近代造船遺産  
 特性G テーマ G-1 近代化の黎明  
 特性E テーマ E-1 長崎街道  
 特性D テーマ D-1 西洋文化の唯一の窓口  
 ③関連文化財群のテーマの概要  
 (2)関連文化財群の設定  
 「特性が対応する範囲のイメージ」  
 Dみなと長崎ー海外との窓口  
 「長崎の歴史文化の特性」  
 イ. 長崎市の歴史文化の特性を示す歴史の変遷の出来事  
 ①特性の整理の考え方  
 (1)長崎市の歴史文化の特性  
 3. 長崎の関連文化財群  
 ②西洋式伊王島灯台の景観  
 Ⅹ伊王島高島  
 I 長崎中部  
 (4)地域別の特性  
 ア. 近代化の先駆けとなった造船業や炭鉱  
 ③近代  
 ■鎖国体制下の海外交流  
 イ. 海外との窓口  
 ア. 幕府直轄地の近世都市長崎  
 ②近世  
 (3)歴史の変遷  
 ■菓子  
 ■料理  
 ウ. 食文化  
 ■文学  
 ■音楽  
 ■工芸  
 ■美術  
 イ. 芸術・文化  
 (2)社会・人文環境の特性  
 2. 長崎市の歴史文化の特性  
 第2章長崎市の歴史文化の特性と関連文化財  
 (1)背景と目的  
 1. 歴史文化基本構想策定の背景と目的  
 第1章歴史文化基本構想策定の背景と目的

記述事項	頁数	1	8	10	12	16	17	18	19	20	21	22	23	24	27	28	35	36	37	39	40	41	43	44	45	46	47	計	
和華蘭文化と表現されてきた長崎市の歴史文化のアイデンティティを明確化し	1																												1
長崎版画も、中国蘇州版画やオランダ銅版画からの影響を色濃く受けつつ盛んに版行された					1																								1
ホルガルやオランダの風俗を取り入れた器物などの真鍮細工						1																							1
青貝細工は、オランダ人の注文に応じて様々な製品が製作され、ヨーロッパに輸出されていたと考えられる						1																							1
17世紀以降、唐船やオランダ船によって露甲細工の材料が長崎に陸揚げされるようになり						1																							1
長崎くんちの奉納踊に関する唄や、里謡などにオランダ人や中国人が歌われたものがある							1																						1
中国語やオランダ語の通訳であった唐通事や阿蘭陀通詞は、中国や西洋の最新の情報や文物について知り得る								1															1						2
斎藤茂吉が大正6年(1917)に官立長崎医学専門学校教授に赴任して阿蘭陀詩社を主宰した後									1																				1
長崎では、中国、オランダ、ホルガルなどの国から伝えられたそれぞれの食文化が融合されて、長崎独特の味覚として進化してきたことが特徴である。								1																					1
菓子の原材料となる白砂糖が、他地域に先駆けて唐船やオランダ船によってもたらされた										1																			1
オランダ商館(鎖国体制下の海外交流)													1																3
出島(鎖国体制下の海外交流)													1																4
出島オランダ商館(鎖国体制下の海外交流)													1																2
オランダ貿易(鎖国体制下の海外交流)													1																2
オランダ(鎖国体制下の海外交流)													2	1															3
安政の開国までの/安政5年(1858)の五ヶ国との修好通商条約締結による開国に伴い(開港の間違いか?)													1	1															2
高島秋帆の西洋流砲術の研究など、早くから西洋科学技術との接触が見られるが															1														2
安政2年(1855)に設置された「海軍伝習所」や文久元年(1861)の「長崎鍛冶所」設立等により、本格的な海外の産業技術や考え方などが導入された														1															3
伊王島は、長崎港へ出入りするオランダ船、唐船を見張る重要な役割をしていた																1													1
伊王島灯台は、慶応2年(1866)5月にイギリス・アメリカ合衆国・フランス・オランダの4ヶ国と江戸条約を結んだ時に全国で8ヶ所に設置された灯台の1つであった																													1
長崎港は海外貿易港として発展し、江戸時代には中国、オランダに開かれた窓口として様々な海外文化を受け入れ																													1
ホルガルやオランダ、中国等との海外諸国との交流により形成された文化																													2
オランダ人墓地																													1
蘭学(洋学)																													1
オランダ商館長																													1
鳴滝塾と医学伝習																													1
活版術、天文学、写真術等の多様な分野の近代化																													1
オランダ海軍																													1
計		1	0	0	0	1	3	2	2	1	0	7	2	3	0	2	1	1	1	1	2	0	0	8	1	5	1	45	

